

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名		
一般		07	01	02	174010	技術力・経営力向上支援事業費		
総合計画	分野	しごと						
	政策	1-2	工業の振興					
	施策	1	技術力・経営力の向上					
目的		企業競争力の強化						
対象		市内企業						
意図		技術力や経営力の向上を図る						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること								
<div>○企業競争力強化支援 展示会の出展や人材育成などの企業競争力強化に資する自立的活動に対する支援</div> <div>○中小企業総合支援 産業支援アドバイザー等の派遣による経営課題解決に対する支援</div> <div>○花巻工業クラブ事業支援 花巻工業クラブ事業補助金の交付</div> <div>○産業のまちネットワーク推進協議会支援 産業のまちネットワーク推進協議会負担金の交付</div> <div>○産業情報発信 産業情報ボックスを活用した情報発信</div>								
市民参画の有無 [無]								
市民協働の形態		共催		<input type="radio"/> 実行委員会・協議会		事業協力・協定		
		後援・協賛		<input type="radio"/> 補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位		区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
①	制度説明会参加事業所数	事業所	計画	40	40	40		
			実績	51	40			
②			計画					
			実績					
③			計画					
			実績					
成果指標（上記「意図」に対応）		単位		区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
①	企業競争力強化支援事業補助金交付件数	件	目標	50	50	55		
			実績	46	43			
②	産業支援アドバイザー派遣件数	件	目標	30	30	30		
			実績	13	6			
③			目標					
			実績					
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		<input type="radio"/> 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)			
市内の事業所が本事業を活用することにより、技術力や経営力の向上の推進に繋がることから、成果指標に設定した。目標値は、過去の実績から推計し設定した。			
目的妥当性	公共関与の妥当性		地域企業の自立的な取組み・戦略展開の支援は、地域経済の活性化に直結するため、市内中小企業の育成の観点からも、市が主体的に取組む必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である		
	見直し余地がある		
有効性	成果の向上余地		支援制度の更なる周知をにより、企業の掘り起こしを図ることが可能となることから、向上の余地は高い。
	<input type="radio"/> 向上余地がある		
	向上余地がない		
効率性	事業費・人件費の削減余地		必要最小限の経費と職員体制で事業を実施しており、必要最小限の補助金等の交付が事業の主な業務であるため、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある		
	人件費の削減余地がある		
公平性	受益と負担の適正化余地		市内すべての企業を対象としており、意欲さえあれば広く制度を活用することができるため受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある		
	費用負担の見直し余地がある		
<input type="radio"/> 適正である			
総合評価 …上記評価結果の総括			
今後、企業が生き残っていくためには、国外にも目を向け、グローバル化に対応させる必要性もあり、そのためには各々の企業において企業競争力を発揮させる必要がある。			

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	07	01	02	174010	技術力・経営力向上支援事業費

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		5,693	5,657		△ 36
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,693	5,657		△ 36

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標				
市内企業の競争力を高め、生産活動を活発にします。				
事業開始の背景・経緯				
地域企業の経営安定及び雇用拡大を目指し、総合的な産業支援施策を構築する必要があったため				
事業概要				
○企業競争力強化支援 展示会の出展や人材育成などの企業競争力強化に資する自立的活動に対する支援				
○中小企業総合支援 産業支援アドバイザー等の派遣による経営課題解決に対する支援				
○花巻工業クラブ事業支援 花巻工業クラブ事業補助金の交付				
○産業のまちネットワーク推進協議会支援 産業のまちネットワーク推進協議会負担金の交付				
○産業情報発信 産業情報ボックスを活用した情報発信				
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等				
長期的な経済情勢の低迷により企業の生産活動が停滞している。また、トップクラスの技術を持つ企業が少ない状況にある。				

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 薄衣 孝史 内線 388

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】					
■中小企業支援アドバイザー派遣事業 70千円					
市内中小企業者にアドバイザーを派遣し、多種多様な経営課題解決のサポートを行う。 ・専門アドバイザーの派遣 (税理士、弁理士、中小企業診断士、弁護士) 謝礼5,000円/30分 ・産業支援アドバイザーの派遣 (企業OB、学識経験者) 謝礼5,000円/0.5日					
		<div>企業等 (課題) 経営課題 経営戦略 経営改善</div>	<div>相談 派遣</div>	<div>市 (アドバイザー) ・専門 ・産業支援</div>	
		<div>課題解決</div>			
■企業競争力強化支援事業補助金交付 4,680千円					
解決すべき経営課題 ⇒ 資金不足等 ⇒ 新たな取り組み⇒ 企業競争力 (技術開発、販路拡大、 の課題 への後押し の強化 人材育成・確保)					
事業名		補助対象経費	補助率	限度額	件数
産学共同研究		大学等に支払う額	2分の1 以内	25万円	2
展示会出展		小間料、小間装飾料		15万円	8
企業共同化	研究開発	原材料、機械装飾費、工具機具費、技術指導料、外注加工費、システム構築費、旅費、賃借料、文献購入費、消費費等対象事業の実施に直接要する経費（直接人件費を除く。）		25万円	1
	受注・購買				
	ゼロエミッション				
	調査研究				
物流効率化					
人材育成(拡充)		外部機関による研修受講等に要する経費(検定料、旅費を含む) + 運送業用大型免許取得		15万円	26
産業財産権戦略構築		産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権、商標権）の取得に向けた調査等に要する経費（調査費、出願料）		20万円	6
■花巻工業クラブ補助金 440千円					
■産業のまちネットワーク推進協議会補助金 30千円					
■産業支援施策制度説明会等 437千円					
11節 133千円 (産業支援施策制度パンフレット等)					
12節 142千円 (郵送料、企業情報手数料)					
14節 162千円 (説明会会場借上料、専用サーバー借上料)					